

Since Mar. 23, 2002

ホームページ『シュンポシオン』20周年

『シュンポシオン』は平成14年(2002)3月23日開設、今年ようやく成人しました

何を書くか、何で書くか、コンセプトは何か

20年前、思いのままに書きながら、自由にデザインし、好きなように手作りしたホームページを開きたいと思い立ち、手始めにホームページデザイナーというソフトを使って恐る恐る運営を始めました。その後、ホームページビルダーに変更し、何回かバージョンアップを重ね現在に至っています。一時期ブログも併用しましたが、フォーマットが決められていて思うようなレイアウトはできないし、自由度がなさすぎるので使用を断念しました。

タイトルは悩んだ末『シュンポシオン』に

ホームページ開設にあたり、名前をどうするかでずいぶん悩みました。いくつか案を並べてみましたが、けっきょく“**シュンポシオン**”というありきたり(?)でシンプルな名前に決めました。それは、倉橋由美子の小説『シュンポシオン』で受けた強い印象が、つねに頭の片隅に残っていたからです。「シンポジウムといふやつはなるべく敬遠したいんですが、一緒に酒を飲んで談笑する方のシュンポシオンなら、毎日がシュンポシオンでもいい」

シュンポシオン *συμπόσιον* はギリシャ語です。シンポジウム *Symposium* の語源ともなっています。

倉橋由美子の小説から、シュンポシオンのくだりを引用します。

「政治の話はよませう。シュンポシオンにはふさわしくない」
「シュンポシオンといふことなら、みなさんにもギリシア人に倣って御自由に寝そべっていただいてはいかがかしら」と桂子さんが言った。
「私にはあの籐椅子を出してもらはう」
「シュンポシオンとはいい言葉ですね」と明さんが言った。「シンポジウムといふやつはなるべく敬遠したいんですが、一緒に酒を飲んで談笑する方のシュンポシオンなら、毎日がシュンポシオンでもいい」
「毎日がお祭りでは困りますけど」と聡子さんが言ふ。

συμπόσιον



古代ギリシャやローマでは、人々が寄り集まって酒食をともにすることをシュンボシオンといい大切にしていたといひます。プラトンは、アカデメイアでシュンボシオンを開き、弟子たちとの交流の場としました。当時「教養ある者にとって節度のある飲酒はさらなる教育によい」と見られていたことから、シュンボシオンには教養人が多く集っていました。

この拙いホームページも、あたかもシュンボシオンのように、頭を柔らかくして素直な気持ちでみなさんが集える場所でありたいとの願いを込めて開設したものです。

ですから、これをご覧の皆様、ご遠慮なくご参加ください！ 原稿はどのような形のものでも構いません。

コンテンツ紹介

男声合唱プロジェクトYARO会

男声合唱プロジェクトYARO会

2002年12月、下記5団体で設立／本サイト管理者・加藤良一が主宰。

- 男声合唱団イル・カンパニーレ（川越市）
- 男声合唱団コール・グランツ（栗橋・現久喜市）
- 男声合唱団ドン・キホーテ（志木市）
- 男声あんさんぶる「ポパイ」（春日部市）
- 男声合唱団メンネルA.E.C.（上尾市）



CHOR GLANZ



男声合唱団コール・グランツ

1989年12月設立／初代指揮者・鎌田弘子⇒現指揮者・笠井利昭／クラシックからポップスまでジャンルを問わず歌う男声合唱団／本サイト管理者・加藤良一が2022年現在団長を務めている。

音楽／合唱

音楽／合唱

2002年3月開設／音楽・合唱関連の情報を掲載／どなたでも気軽に書いていただけるコーナー。

おんがく広場

『おんがく広場』

2020年4月創刊／コロナ禍で窮地に立たされた音楽・合唱関係者の情報交換の場として活用している／facebookやTwitterにも随時公開しているが、それらにアクセスできない方のために、転送したりコピーして配付しやすいようにPDFと画像JPEGの二種類を用意している／LINEグループで共有し活用しているケースもある／リンクフリー、コピーも自由！

音楽こぼればなし

音楽こぼればなし

「音楽／合唱」の姉妹版コーナー／ちょっとした記録的な面もある。

全国主要男声合唱大会 総覧

全国主要男声合唱大会 総覧

全国横断的に男声合唱大会を整理してまとめたコーナー／11の大会について創設・活動状況などを表形式で表現している／随時アップデートしている。

全日本男声合唱フェスティバル

全日本男声合唱フェスティバル

2010年11月、宮崎大会で始まった全日本合唱連盟主催の男声合唱フェスティバルのコーナー／当初隔年ごとのつもりでスタートしたが、全国規模で開催する困難に直面している／果たしてどうなることが...

関東おとうさんコーラス大会の歴史

関東おとうさんコーラス大会の歴史

1990年8月、埼玉県合唱連盟主催が全国に先駆けて始めた「おとうさんコーラス大会」(サッポロビール川口工場)／その後関東支部へと拡大、紆余曲折を経て彩の国男声コーラスフェスティバルへと昇華した歴史をまとめたコーナー。

彩の国男声コーラスフェスティバル

彩の国男声コーラスフェスティバル

埼玉の「おとうさんコーラス大会」がスタートしてから20年後の2009年、「彩の国男声コーラスフェスティバル」と衣替えて再出発した大会／現在も脈々と受け継がれている。

多田武彦<公認サイト>

多田武彦公認サイト

作曲家・多田武彦先生から公認サイトの運営を任せられ、2009年12月に開設したコーナー／著作物などの情報を掲載／内容のいくつかを『**男声合唱は、いま！ 多田武彦先生追悼集**』としてアマゾン・オンデマンドより出版／電子書籍Kindle版も併せて出版している。

歌劇 幕臣・渋沢平九郎

歌劇 幕臣・渋沢平九郎

渋沢栄一の見立て養子となり、戊辰戦争の一環である飯能戦争で壮絶な死を遂げた渋沢平九郎の生涯を描いたオペラ／初演に至る活動を『**コロナ禍乗り越えオペラ上演<歌劇 幕臣・渋沢平九郎>**』としてアマゾン・オンデマンドより出版／電子書籍Kindle版も併せて出版している。

facebook

facebook

本サイト管理者・加藤良一のfacebookサイト／公開グループ「男声合唱プロジェクトYARO会」も開設・「ポストコロナの合唱活動を考えよう」(メンバー：2022年3月現在2315人)、「集まれ合唱！」(同：2022年3月現在6902人)にも参加している。

エッセイ集

なんやかや

なんやかや

文字どおりなんやかやとカテゴリーのないエッセイコーナー／多くの方々の参加を得て賑わっている。



虫めがね

「なんやかや」があまりに多岐にわたるため、いづれでもサイエンスにつながるエッセイをまとめ直したコーナー／随時新しいエッセイをアップしている。



洗濯船

「虫めがね」同様、「なんやかや」から外国に関連するようなエッセイを集めたコーナー／随時新しいエッセイをアップしている。



雑感

「シンポジオン」設立当初から、身の回りにまつわるまさに雑感もろもろを認めたコーナー。

人の尊厳とは

人の尊厳とは Living Will

日本尊厳死協会の提唱する尊厳死 Living Will の紹介や提言などを掲載しているコーナー／本サイト管理者・加藤良一も同協会に加盟して尊厳死についてつねに考えている。

島崎弘幸

島崎弘幸 元栄養学教授のコラム

島崎弘幸氏は本サイト管理者・加藤良一の大学時代の研究室同窓生／元栄養学教授／民間の研究所・所長、栄養専門学校学園長／気が向くままエッセイを寄せていただいている。

ことば/文芸

ことば/文芸

日本語や文芸に関するエッセイコーナー。



SPORTS

SPORTS

サッカー、テニス、野球などスポーツに関する話題を集めたコーナー。

宮沢研究室

宮沢研究室

本サイト管理人・加藤良一が大学時代に所属していた生化学研究室（故宮澤雄二教授）の同窓会コーナー／関係者限定のためパスワードが必要！

リンク集

リンク集

音楽・合唱を中心に関連するWEBサイトを集めたコーナー。

管理者プロフィールに代えて



復刻版 音楽は体力です

本書は2001年2月15日初版を発行したが、第二刷の後絶版となっていた／とくにどなたからご要望があったわけではないが、2021年4月アマゾン・オンデマンド出版より**復刻版**として出版／電子書籍Kindle版も併せて出版している／声楽素人ならではの悩みや誤解、挑戦することで少しずつ歌えるようになってゆく嬉しさ、楽しさなど、プロの音楽家では考えられないような話もたくさん出てくる。



男声合唱は、いま！ 多田武彦先生追悼集

2021年6月アマゾン・オンデマンドより出版／電子書籍Kindle版も併せて出版している／作曲家・故多田武彦先生の追悼集及び全国各地の男声合唱大会を総括したガイドブック／埼玉県合唱連盟理事・男声合唱プロジェクトYARO会主宰・男声合唱団コール・グランツ団長として男声合唱に長く関わった経験をもとに「全国主要男声合唱大会総覧」を編纂／これ一冊で、日本の男声合唱事情が見渡せる。



コロナ禍乗り越えオペラ上演〈歌劇 幕臣・渋沢平九郎〉

2021年3月アマゾン・オンデマンドより出版／電子書籍Kindle版も併せて出版している／コロナ禍で練習もままならない、2021年2月上演に至るまでのオペラ公演の苦闘の記録／主人公・渋沢平九郎は、NHK大河ドラマ『青天を衝け』の主人公渋沢栄一の見立て養子となり、戊辰戦争の地方戦・飯能戦争で新政府軍と闘い、20歳という若さで壮絶な死を遂げた／尊王攘夷の思想に燃え、彰義隊に参加、そこから分裂した振武軍のリーダー格として短い生涯を閉じるまでを描いた。

συμπόσιον

加藤良一

令和4年(2022)3月19日



Back

「なんやか」TOPへ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る